

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 障害者福祉推進課

担当名: 社会参加推進担当

内線: 3311

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B37	備品整備費		一般会計	民生費	社会福祉費	総合リハビリテーションセンター費	総合リハビリテーションセンター設備整備事業費	
事業期間	平成7年度～	根拠法令	総合リハビリテーション条例			戦略項目		
					分野施策	020203 障害者の自立・生活支援		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>老朽化により業務に支障をきたしている備品や新たな医療ニーズに対応した備品について、計画的な更新・整備を行うことにより、リハビリテーション業務の円滑化を図る。</p> <p>○入札の執行により生じた差金の減額補正 (1) 備品整備費 △14,000千円</p>			<p>(1) 事業説明 老朽化した備品の更新と新たな県民の医療ニーズに応える備品の整備を図る。</p> <p>(2) 事業計画 当センターの病院部門は、平成6年3月の開設に合わせ大半の医療機器が整備された。病院開設後約20年を経過し、多くの医療機器が耐用年数を大幅に経過し老朽化している。こうした状況の中で、病院としての機能を維持するとともに、県民の医療ニーズに的確に応えるため、これら医療機器を順次更新（新規導入を含む）していく。</p> <p>(3) 事業効果 病院としての機能の維持・向上が図られ、県民への医療サービスが向上する。 ア 26年度購入備品 全自動錠剤分包機等15品目 イ 25年度購入備品 高圧蒸気滅菌装置等15品目 ウ 24年度購入備品 デジタルX線装置等16品目</p> <p>(4) その他 前年からの変更点 特になし 終期が記載できない理由: 条例に基づく病院の医療機器備品の購入経費であるため。</p> <p>(5) 補正予算の概要 入札の執行により生じた差金の減額補正</p>					
2 事業主体及び負担区分								
事業主体: 県 負担区分: (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
病院事業債充当率100%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×1人=9,500千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△14,000	県債					0	96,014
現計額	110,014						14	